

行財政改革特別委員会 (10月12日～13日)

四日市市：行財政改革および公会計に係る改革の取り組みについて
伊丹市：公共施設マネジメントの取り組みについて



四日市市では、平成27年に総務省が統一した基準による地方公会計マニュアルを示し、その基準による財務書類等の作成を要請する前から複式簿記による発生主義会計の財務書類の作成や固定資産台帳の整備をしてきました。平成28年度決算からは統一的な基準による財務書類を作成、公表し、今後の公共施設の在り方、市民一人当たりのコストの把握、受益者負担の適正化などへの活用に向けた取り組みを積極的に進めています。

伊丹市では、人口減少社会に対応した公共施設マネジメントを推進するため、投資的経費のルール化等財政健全化や、財政状況の情報発信等、市民との情報共有などに取り組んでいます。

(委員長 中安加代子)

都市整備特別委員会 (10月23日～24日)

高松丸亀町商店街振興組合・高松丸亀町商店街再開発事業について
高知市：駅前および高知城周辺のまちづくりについて



丸亀町商店街の目標は、商店街の再生ではなく丸亀町を住みたくなるまちにすることでした。そうなれば自然と商売は再生できるという方針から商店街の周辺には高齢者対応マンションが多数整備されてきました。ポイントはいかに行政が規制緩和に協力してくれるかということ、地方再生は市役所と議会にしかできないとアドバイスを受けました。

高知市でも中心市街地に民間分譲マンション建設が促進され、居住人口の増加を図っていました。また、高知には古くから「おきやく」という宴会文化があり、商店街の中にスペースを設けて宴会をするイベントの取り組みも面白いと感じました。

(委員長 大田祐介)

特別委員会の視察報告

地方創生調査特別委員会 (10月16日～17日)

静岡市：「しずおか女子きらっ☆」推進事業について

認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」・UIJターンの支援等について

静岡市では、国や県より約20年早い1990年をピークに人口減少が始まっていることを踏まえ、2025年の総人口70万人の維持をめざす総合戦略を策定しています。その柱の一つとして、「しずおか女子きらっ☆」推進事業に取り組ま

れており、女性の活躍促進、再就職や起業をめざした女性向けのセミナーの開催など、大いに参考になりました。



ふるさと回帰支援センター

東京の認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」では、地方の活力を生かす具体的な事例を交えながら、都会から地方への「UIJターン」を支援する活動について、意見交換をしました。

(委員長 法木昭二)

編集後記

2018年の幕開け最初の市議会だよりは昨年11月臨時会と12月定例会について報告いたします。

毎議会、市民生活全般にわたる幅広い質疑が行われ、その積み重ねの中で、2020年9月に中学校給食が全校実施される運びとなりました。また、「こころをつなぐ手話言語条例」が全議員の賛成で成立しました。

市議会だより編集委員会は、議会の様子を読みやすい紙面で伝えようと努力しています。どうぞ、ご一読のご意見・ご要望をお聞かせください。

(村井明美)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

